

アイゴ (mottled spinefoot)

Siganus fuscescens



アイゴ



アイゴによる食害を受けたアマモ
連続した咬み跡が特徴

発生生態

体長30cm程の緑褐色や灰褐色の魚で、体表には白や黒の斑点があります。夏に藻場で産卵し、秋には数百匹単位の幼魚の群れが沿岸で見られます。藻類を主体とした雑食性で、群れで海藻を食い荒らします。水温の低下と共に活性が低くなり、水温17.5℃で全く摂餌しなくなります。

防除対策

藻場の周囲に網を張り、アイゴの摂食を回避します。また、漁獲によって生息密度を減らし、摂食圧を下げることも効果的です。なお、鰭の棘には毒があり、刺されると強い痛みが数日続くこともあるため、取り扱いには注意が必要です。